

2011年12月26日

法教育への取り組みについて

朝日大学 法学部
大野 正博

1. 岐阜法教育研究会の発足

法的なものの考え方などを身につけてもらうための「法教育」の普及に向け、朝日大学法学部、岐阜大学教育学部の有識者、岐阜県内の弁護士、マスコミ関係者等により、2009年5月「岐阜法教育研究会」発足

会長：大杉昭英岐阜大学教育学部教授(元文部科学省初等中等教育局視学官、法務省法教育推進協議会委員)

事務局：朝日大学

2. 岐阜法教育研究会の活動実績

- (1) 法教育公開シンポジウム(2009年)
- (2) ジュニア・ロースクール(2009年～)
- (3) 法教育教材コンクール(2010年～)
- (4) 法教育に関する作文コンクール(2011年～)

3. 朝日大学の法教育に対する取り組み

(1) 刑事法ゼミでの取り組み

① 施設参観(座学 ⇒ 施設参観 ⇒ 議論)

研究室において、最低限の知識を習得し、その知識をもって現場に出て自身の目で見、肌で感じ、再度、研究室において議論をし、自身の見解を述べられるようにする

【刑事手続のスタートからゴールまで】

愛知県警察本部、名古屋地方検察庁、名古屋地方裁判所、名古屋市市制資料館、名古屋刑務所、笠松刑務所など

② フィールドワーク

- (a) 大学所在地の「盗犯MAP」作成
- (b) 地域安全・安心見守り活動
- (c) 岐阜県下「裁判所MAP」作成
- (d) 薬物犯罪と薬物依存症者回復プログラム
- (e) 交通事故分析(民法・心理学のゼミと合同)

(2) 朝日大学法学部での取り組み [(1)刑事法ゼミでの取り組みの発展型]

① 劇団朝日

- ・危険運転致死罪(量刑)
- ・強盗致死罪(因果関係)
- ・傷害致死罪(正当防衛)
- ※ 「生命」の大切さも伝えたいと学生がテーマ設定
- 対象：生徒、学生、社会人

② 朝日大学“法”送局【シティエフエムぎふ(78.5MHz)毎週木曜 23:00～23:30OA】

- ・裁判員制度紹介
- ・岐阜で発生した事件や事故分析
- ・判例紹介
- ・地域情報
- ・リスナーからの法律相談
- ※ 回答は岐阜県弁護士会所属弁護士

③ 防犯ボランティア団体「めぐる」

警察庁「若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業」指定

- ・散歩レンジャー(徒歩による防犯パトロール)
- ・青色回転灯装備車によるパトロール
- ※ 瑞穂市職員と共同
- ・防犯教室
- ・フライヤー配布等防犯啓発活動
- ・児童を対象とした危険体験アンケートの実施・分析

(1)①②、(2)①～③を実施することにより、学生自身が自主的に考え、問題解決をしようとする力が芽生える

↓(2)①劇団朝日、③防犯ボランティア団体「めぐる」の活動が評価され

「社会人基礎力育成グランプリ 2012 中部地区大会」奨励賞受賞

4. 岐阜型(朝日大学型)法教育

高大連携による法教育 ← 上記 3. の取り組みを発展して

- ① 設例検討(出張講義：高等学校教諭主体)
ex. 赤ちゃんポストの是非
 - ② 法学入門、裁判員制度 etc.(出張講義：大学教員主体)
 - ③ 模擬裁判(朝日大学模擬法廷：生徒・学生の協同)
 - ④ 裁判傍聴 etc.(岐阜地方裁判所・岐阜地方検察庁)
 - ⑤ 設例検討(出張講義：高等学校教諭主体)
ex. 石川県「小中学生の携帯電話禁止条例」の是非
- 週1回、毎週連続で実施
移動費用等はすべて朝日
大学が負担

①設例検討時よりも⑤設例検討時の方が、明らかに議論が活発になる

KJ法や二次元展開法はいずれの設例検討においても活用するが、模擬裁判や法廷傍聴によって議論に幅ができ、理論的に意見を主張することができるようになる

↑

法曹三者の主張方法の影響？

5. 今後の課題

岐阜法教育推進プロジェクトにおいては、大学および法曹三者だけでなく、幅広い機関が関与することも検討すべきではないか？

大学生も施設参観においては、更生保護施設が一番大きな影響を受け、その後の受講態度に変化がみられる

単に法的な知識の習得が目的ではなく、「社会で起きている事象はすべて原因があり、それは決して他人事ではなく、社会の一員である自身の問題である」ことを認識し、法の必要性を各人で気付いてこそ、真の議論に繋がる

大学教員・小中高等学校教諭がイニシアチブをとって議論を展開するだけでなく、大学生が生徒に、あるいは生徒が児童に対し、イニシアチブをとって議論を展開したり、生徒間や児童間のみで議論を展開できるよう徐々に発展させることが必要

仮に発展できた場合、注意すべきは教員・教諭がどこまで「我慢できるか」

また、対象により何にどの範囲まで触れさせるか慎重に検討が必要

法教育は、児童・生徒だけでなく、学生も成長させるし、社会人に対しても必要